

地震の心得

わが家の地震対策

家の周囲の安全対策

屋根

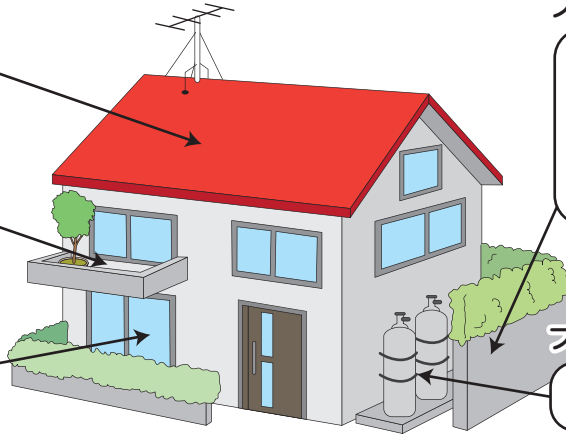
不安定な屋根のアンテナや屋根は補強しておく

ベランダ

植木鉢などの整理整頓をし、落ちる危険がある場所には何も置かない

窓

飛散防止フィルムをはる



ブロック塀・門柱

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なため補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する

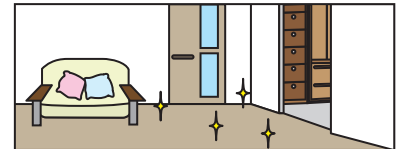
プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。

家の中の安全対策

1 家の中に逃げ場としての安全な空間を作る

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめておく。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。



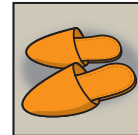
2 寝室、子供やお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子供やお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。



3 家の中でケガをしない対策を

食器棚等の転倒によって、ガラスが散乱する可能性があるため、リビングや寝室等にスリッパなどを用意しておく。



4 安全に避難するため、出入口や通路にもものを置かない

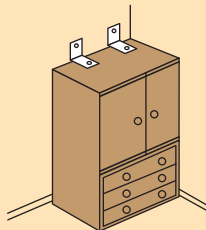
玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに出入口をふさいでしまうことも。



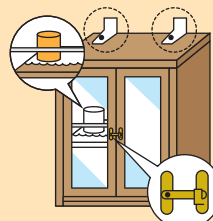
家具の転落、落下を防ぐポイント

タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



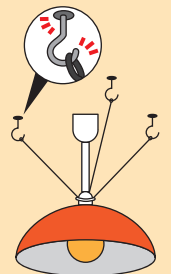
食器棚



L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下に、軽い食器は上の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。

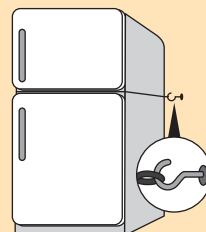
照明

チェーンと金具を使って数カ所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



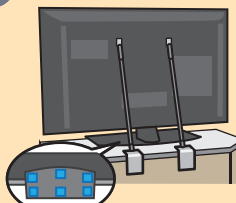
冷蔵庫

2ドアの場合は、扉と扉の間に針金を巻いて、金具で壁に固定する。



テレビ

転倒防止バンドなどでテレビ台とテレビを固定したり、粘着パッドをテレビの足に貼り付けて固定する。



ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する脚には、すべり止めをつける。

